

のんびり★月十二宿

甲州街道

あるき





知るとおもしろい甲州街道 用語解説

- 【五街道】** 江戸時代の主要街道で、東海道・中山道・日光道中・奥州道中・甲州街道を指します。甲州街道はのちに甲州道中と呼称されるようになりますが、ここでは甲州街道の名称で統一します。
- 【本陣】** 大名や旗本、公家、勅使といった身分の高い人物が宿泊した宿を本陣といいます。それに次ぐ身分の人物は脇本陣に宿泊しました。
- 【問屋場】** 荷物を運ぶための人足や馬を交代させる人馬継立を主な業務として行いました。大きな輸送がある時や人手不足の時は、助郷としてあらかじめ決められた村の村人が手伝いました。
- 【合宿】** 業務負担を軽減させるために、二宿以上が経営日を分けて一宿の役目を果たすことを合宿といいます。上下の鳥沢宿、上下の花咲宿、下中の初狩宿、そして白野・阿弥陀海道・黒野田が合宿でした。
- 【郡内織】** 郡内とは、現在の山梨県東部地域のことで、郡内織とは、郡内の村々で生産された絹織物のことをいいます。郡内織は、江戸時代にこの地域を治めた谷村藩主秋元氏の奨励策によって発展しました。また、明治時代以降には甲斐絹の名称で普及しました。
- 【甲州八珍果】** カキ、クリ、クルミ（ギンナンとも）、ザクロ、ナシ、ブドウ、モモ、リンゴをいいます。郡内ではカキの生産が行われていたという記録があります。
- 【富士講】** 江戸時代に盛行した富士山を信仰する民衆宗教の一派で、その信仰者が組織した講社を富士講といいます。富士山に登ると災厄から免れると信じられ、江戸を中心に町人や農民の間で広まりました。

甲州街道あるきマップ内のアイコン 凡例

- 甲州街道あるきのコース (実線)
- - - - おすすめコース (点線)
- 🏯 神社
- 🏛️ 寺院
- 🗿 石仏
- 🎓 学校
- 🏪 コンビニ
- 📮 郵便局
- 🛣️ 20 国道 20 号
- 🚻 トイレ
- 🌸 桜の名所

※本マップは江戸から下諏訪に向かうことを想定しています (2022年1月現在の情報です)
 ※本マップは国土地理院の基盤地図情報を用いて作成した地図を加工しています



お土産・観光情報



飲食店情報



大月市

甲州街道とは
 甲州街道は江戸時代の初め（慶長年間）に整備された五街道の一つです。整備された当初は、公用通行のほか軍事目的もあつたといわれますが、時期が下るにしたがって、郡内織と呼ばれた絹織物や名産の果物類が江戸方面に運ばれるための流通の道として、また江戸方面から富士山を目指すための信仰の道としての側面も加わっていきます。

現在、甲州街道はそのほとんどが国道20号となっていますが、すべてが置き換えられたわけではなく、今も江戸時代の面影を残す旧道がそこかしこに残されています。

甲州街道の宿場まち
 甲州街道には、内藤新宿からはじまり下諏訪で中山道に合流するまでに45の宿場が置かれました。各宿は、運輸、通信、休泊の業務を行い、参勤交代の大名といった身分の高い人物が宿泊する本陣や、荷物の運輸で継立の場となった問屋場など、宿場にはそれぞれ役割を持った建物が建てられました。



名勝猿橋とあじさい

大月市内に置かれた宿場は、東から、下鳥沢宿、上鳥沢宿、猿橋宿、駒橋宿、大月宿、下花咲宿、上花咲宿、下初狩宿、中初狩宿、白野宿、阿弥陀海道宿、黒野田宿の12宿で、小さな宿は業務の負担を軽減するために2つ以上の宿が日割りで経営を分担する合宿という方法がとられています。

至 笹子峠	黒野田宿	阿弥陀海道宿	白野宿	中初狩宿	下初狩宿	上花咲宿	下花咲宿	大月宿	駒橋宿	猿橋宿	上鳥沢宿	下鳥沢宿	至 大目峠
-------	------	--------	-----	------	------	------	------	-----	-----	-----	------	------	-------



③【福地八幡神社】
 もともと鳥沢駅北側の扇山にありましたが、長元7(1034)年に現在の場所に移ったといわれます。
 「福地」とは当時のこの地域のことで、後に大木大明神と呼ばれるようになりますが、明治時代以降はこの名称に戻りました。



①【おすすめコース(山谷からの富士山)】
 東京方面から大月市へ入ると、前方(南)に雄大な富士山が望めます。



②【大月エコの里】
 富士山を眺めながら貸し農園での農作業や自然を活かしたイベントなどに参加できる施設。春には園内の桜が綺麗に咲き誇ります。



至 大目峠	下鳥沢宿	上鳥沢宿	猿橋宿	駒橋宿	大月宿	下花咲宿	上花咲宿	下初狩宿	中初狩宿	白野宿	阿弥陀海道宿	黒野田宿	至 笹子峠
-------	------	------	-----	-----	-----	------	------	------	------	-----	--------	------	-------



①【山口家住宅主屋】
 上鳥沢宿の間屋場で、街道に北面して建つ切妻造平入二階建の建物です。
 上鳥沢宿が幕末の大火で焼けた後、すぐに再建されたため、装飾性に乏しい建物になったと伝えられています。国登録有形文化財に登録されています。



③【精進場】
 富士講の道者が、江戸から富士山に向かう時、この場所で初めて富士山由来の水に出会うことから、心身を清浄にして身を清めるため、水浴を行いました。



②【明治天皇駐ひつ地碑】
 この碑は、明治13(1880)年に明治天皇が巡幸された際、上鳥沢宿の「しま屋」という家で御晝餐(屋敷)を召されたことを記念して建てられました。



①文化財
 山口家住宅主屋

三栄工業の看板方面へ入る

階段注意

畑を抜ける

②明治天皇駐ひつ地碑

上鳥沢宿

鳥沢駅

横吹団地入口バス停
 国道20号合流

「この先、行き止まり」看板方面へ

未舗装 注意

カーブ標識

③精進場

宮谷入口交差点から
 コンビニ南側を通る

タムラ自動車脇を下る

畑の間を通る

横断歩道を渡り
 県道505号へ

89.9
 キロ標識



至 笹子峠
黒野田宿
阿弥陀海道宿
白野宿
中初狩宿
下初狩宿
上花咲宿
下花咲宿
大月宿
駒橋宿
猿橋宿
上鳥沢宿
下鳥沢宿
至 大目峠



② 【猿橋】
 水面から 30 m 以上の高所に架けられているため、兩岸から張り出した四層のはね木という部材によって支えられた特異な構造をしています。
 橋と調和した渓谷の四季折々の景観が見事であることから、昭和 6 (1931) 年に国の名勝に指定されました。



③ 【青面金剛】
 二人の旅人が江戸の馬喰町から日本全国を巡りながら、巡った地域について戯文と戯画で紹介する『諸国道中金草鞋』(十返舎一九作) という江戸時代の書物があります。
 この青面金剛は、作中で駒橋に向かう坂道に描かれているものだと考えられています。



出典：国立国会図書館デジタルコレクション



① 【第一号水路橋】
 明治 45 (1912) 年に運転が開始された東京電力八ツ沢発電所施設の一部です。
 この施設は、上流の駒橋発電所で水力発電に利用した水を下流の八ツ沢発電所へ送水する施設で、駒橋発電所から八ツ沢発電所までに存在する 14 所、6 基の施設が重要文化財に指定されています。

至 大目峠	下鳥沢宿	上鳥沢宿	猿橋宿	駒橋宿	大月宿	下花咲宿	上花咲宿	下初狩宿	中初狩宿	白野宿	阿弥陀海道宿	黒野田宿	至 笹子峠
-------	------	------	-----	-----	-----	------	------	------	------	-----	--------	------	-------



③【大月追分】
 現在は直進して大月橋を渡りますが、かつてはT字路になっており、右に行くと甲州街道、左に行くと富士山に向かう富士道に分かれていました。
 そのことを示す道標碑がいくつか建てられています。



①【厄王大権現】
 薬師如来が祀られており、南側にある御前山山頂付近には奥の院があります。
 参詣の便を図るため、昭和3（1928）年に本殿が建立されました。節分会では盛大な豆まきが行われます。



②【三嶋神社】
 三嶋神社には、かつて大きな4本の榎の木(ケヤキの一種)がそびえていました。
 この榎の巨木は大変目立った存在だったようで、この地域を「大榎」と呼んだことが現在の「大月」の地名の由来といわれています。

③大月追分



至 大目峠
下鳥沢宿
上鳥沢宿
猿橋宿
駒橋宿
大月宿
下花咲宿
上花咲宿
下初狩宿
中初狩宿
白野宿
阿弥陀海道宿
黒野田宿
至 笹子峠

② 【おすすめコース (桜並木)】

甲州街道からは少し外れますが、笹子川沿いに桜並木がきれいな歩道があります。



③ 【下花咲宿本陣 星野家住宅】

現在の建物は嘉永5(1852)年頃に建築されたもので、重要文化財に指定されています。江戸時代には下花咲宿の本陣兼問屋場として機能し、明治13(1880)年の明治天皇の御巡幸の際には休息所として利用されました。

③文化財
下花咲宿本陣
星野家住宅

②おすすめコース
(桜並木がきれい)

信号曲がる
カーコンビニクラブ手前

①文化財
一里塚跡

下花咲宿

上花咲宿

① 【一里塚跡】

甲州街道沿いに一里(約4km)ごとに設置された塚の一つで、この一里塚は下花咲宿の入り口付近にありました。

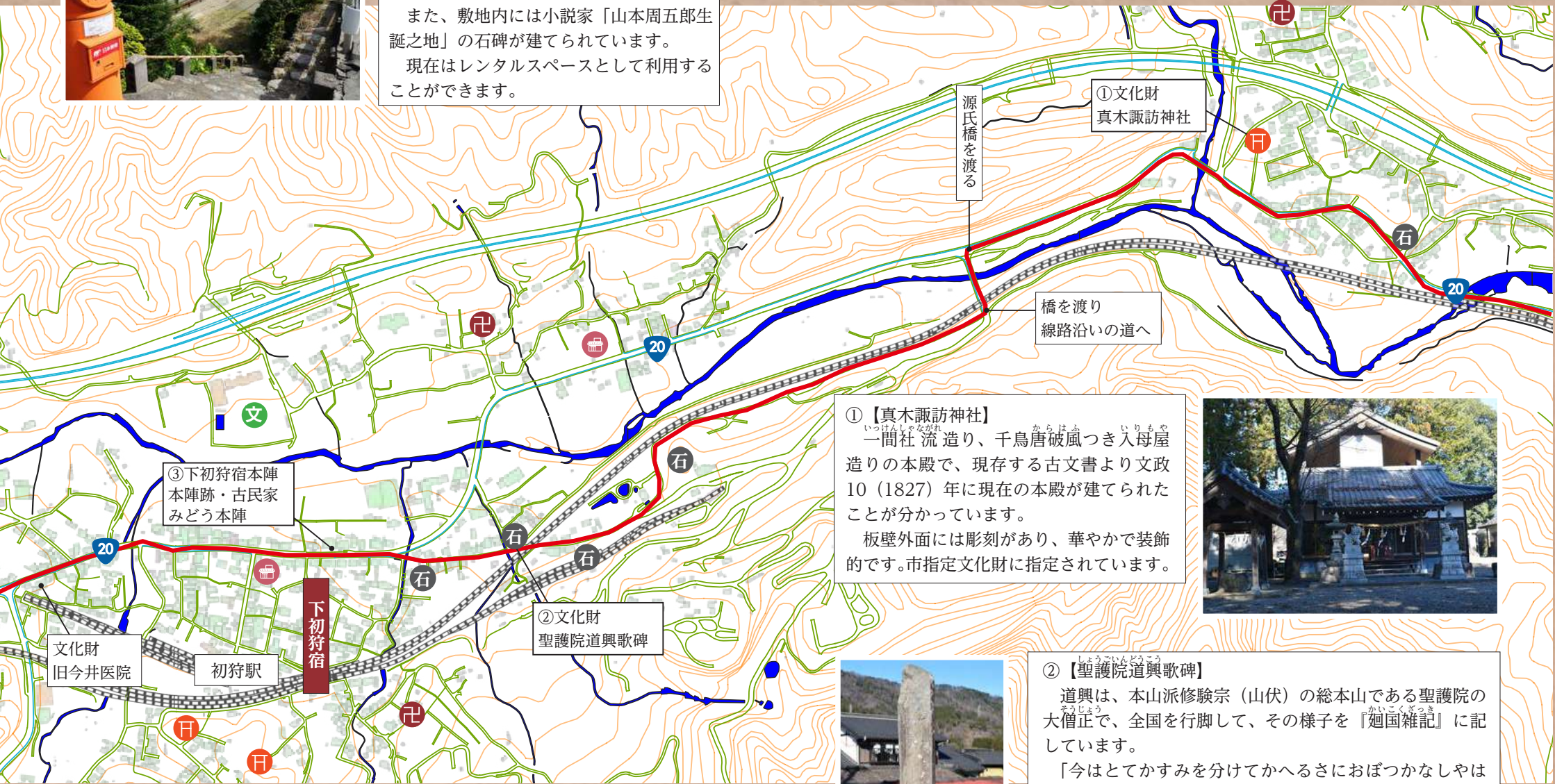
現在、道路工事や鉄道工事により当時の面影がほとんどありませんが、古い絵図等から、この場所に一里塚があったことが分かっています。市指定文化財に指定されています。



至 大目峠
下鳥沢宿
上鳥沢宿
猿橋宿
駒橋宿
大月宿
下花咲宿
上花咲宿
下初狩宿
中初狩宿
白野宿
阿弥陀海道宿
黒野田宿
至 笹子峠



③【本陣跡・古民家みどう本陣】
 下初狩宿の本陣で、江戸時代後期頃に建てられたと伝わります。参勤交代の大名一行を迎える「駕籠寄せ門」や大名が宿泊した「上段の間」が残されています。
 また、敷地内には小説家「山本周五郎生誕之地」の石碑が建てられています。
 現在はレンタルスペースとして利用することができます。



源氏橋を渡る

①文化財
真木諏訪神社

橋を渡り
線路沿いの道へ

③下初狩宿本陣
本陣跡・古民家
みどう本陣

②文化財
聖護院道興歌碑

文化財
旧今井医院

初狩駅

下初狩宿

①【真木諏訪神社】
 一間社流造り、千鳥唐破風つき入母屋造りの本殿で、現存する古文書より文政10（1827）年に現在の本殿が建てられたことが分かっています。
 板壁外面には彫刻があり、華やかで装飾的です。市指定文化財に指定されています。



②【聖護院道興歌碑】
 道興は、本山派修験宗（山伏）の総本山である聖護院の大僧正で、全国を行脚して、その様子を『廻国雑記』に記しています。
 「今はとてかすみを分けてかへるさにおぼつかなしやはつかりの里」と刻まれたこの歌は、文明19（1487）年に初狩を通過するときに雁が鳴くのを聞いて詠んだものです。碑は甲斐国志の編纂を担当した谷村の森島基進が後年建立しました。市指定文化財に指定されています。

至 大目峠
下鳥沢宿
上鳥沢宿
猿橋宿
駒橋宿
大月宿
下花咲宿
上花咲宿
下初狩宿
中初狩宿
白野宿
阿弥陀海道宿
黒野田宿
至 笹子峠



①【船石橋伝説碑】
 船石とは、船の形をした長さ約240cmあったという大型の石のことで、この石の上で親鸞聖人が説法したと伝えられています。
 船石橋の東にありましたが、明治40(1907)年にこの地域を襲った大水害により、現在は所在が分からなくなりました。



②【白野の一里塚跡】
 白野宿へは天神峠と呼ばれる峠を越えて入っていきますが、一里塚はその峠を下った宿の入口付近にあったとされています。現在では天神峠の峠道はなくなっています。

③【宝林寺】
 臨済宗妙心寺派の寺院で、本尊は薬師如来です。
 楼門形式の山門が特徴的で、寺宝である「紙本淡彩観音十六羅漢図」は市指定文化財に指定されており、臨済宗中興の祖といわれる白隠の作とされています。

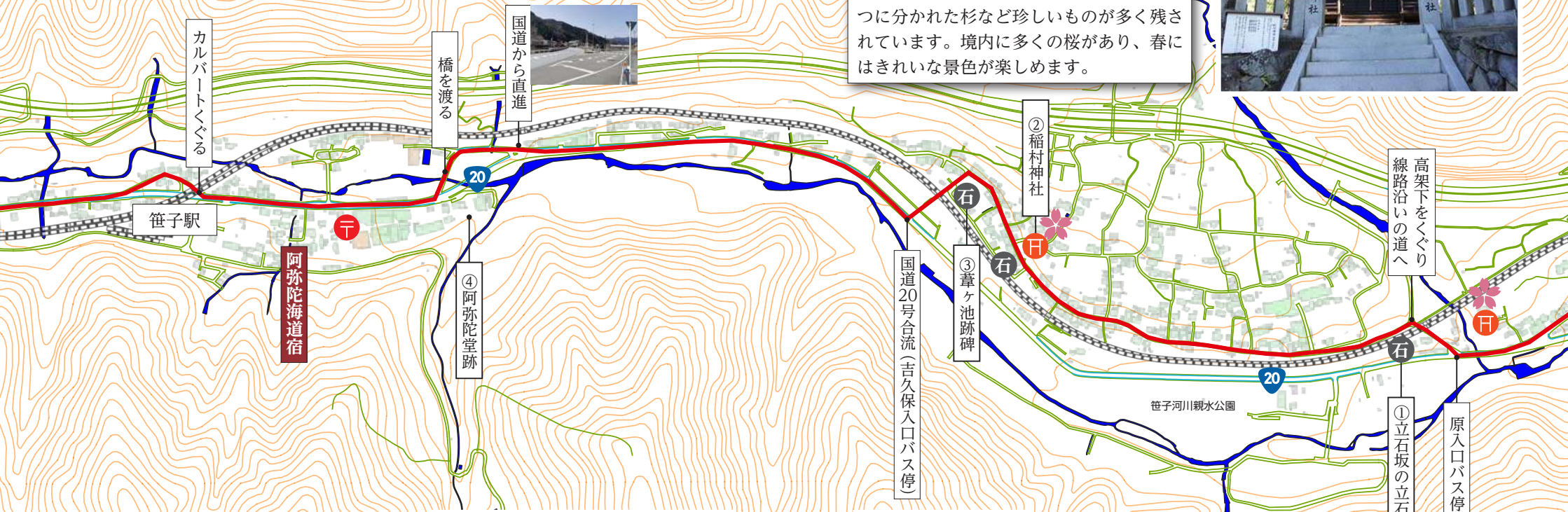


至	至	阿弥陀海道宿	白野宿	中初狩宿	下初狩宿	上花咲宿	下花咲宿	大月宿	駒橋宿	猿橋宿	上鳥沢宿	下鳥沢宿	至
笹子峠	黒野田宿												犬目峠



③ 【葦ヶ池跡碑】
 その昔、「よし」という娘がおり、旅の僧侶に叶わぬ恋をし、その悲しみから毒蛇になり、通行人を襲っていたという伝説があります。
 現在はなくなってしまいましたが、葦ヶ池はその毒蛇が棲みついた池といわれています。毒蛇はその後、この地を訪れた親鸞聖人しんらんしょうにんにより供養されたと伝えられています。

② 【稲村神社】
 境内には「社中ニ大ナル男根石アリ、長四尺五寸許り、陰囊備ハレリ、道祖神ニ祭ル」と『甲斐国志』に記された道祖神をはじめ、富士講碑や一つの根元から幹が3つに分かれた杉など珍しいものが多く残されています。境内に多くの桜があり、春にはきれいな景色が楽しめます。



④ 【阿弥陀堂跡】
 阿弥陀海の名前の由来になったお堂で、行基上人ぎょうきしょうにんによる開基伝説が残ります。
 現在、お堂はなくなってしまいましたが、安置されていた阿弥陀如来は黒野田の普妙院ふみょういんに移したと伝わります。跡地にはたくさんの石仏があります。



① 【立石坂の立石】
 現在、中央線によって分断されていますが、甲州街道はこの坂を通行していました。
 名前の由来になった立石は、山姥やまんばが折れてしまった石杖をこの場所に突き刺したものと伝えられています。

至 大目峠	下鳥沢宿	上鳥沢宿	猿橋宿	駒橋宿	大月宿	下花咲宿	上花咲宿	下初狩宿	中初狩宿	白野宿	阿弥陀海道宿	黒野田宿	至 笹子峠
-------	------	------	-----	-----	-----	------	------	------	------	-----	--------	------	-------



【追分の人形芝居】

18世紀に淡路の人形遣いが伝えたといわれ、庶民の文化として現在まで継承されている人形浄瑠璃です。県の無形民俗文化財に指定されています。



◀こちらから追分の人形芝居の動画がご覧になれます

③【黒野田一里塚跡】

江戸から27里目の一里塚で、現在、標柱は普妙院の門脇にあります。塚そのものは現存していません。



①【黒野田宿本陣】

黒野田宿の本陣で、現在でも建物が良好に残されています。

明治13(1880)年の明治天皇の御巡幸の折には行在所となっており、その時に改築し天皇が宿泊した建物も現存しています。



②【口留番所跡】

中世から存在した口留番所で、江戸時代の中頃には廃止されたと考えられています。笹子峠を越えて通行する旅人や荷物などの出入りを取り締まりました。





至 大目峠
下鳥沢宿
上鳥沢宿
猿橋宿
駒橋宿
大月宿
下花咲宿
上花咲宿
下初狩宿
中初狩宿
白野宿
阿弥陀海道宿
黒野田宿
至 笹子峠



①【明治天皇御野立所跡碑】
 明治天皇が巡幸の際にこの場所で休憩をされたことを記念して碑が建立されています。この付近には茶屋があり、かつては峠越えの旅人たちが休憩をする場所でもありました。



②文化財
 笹子峠の矢立のスギ

②【笹子峠の矢立のスギ】
 戦場に向かう武士がこの杉に矢を射立て吉凶を占った、富士浅間明神を礼拝した、山の神の手向けにした等と伝えられています。中は空洞になっていますが、樹勢は旺盛で、県の天然記念物に指定されています。



③文化財
 笹子隧道

③【笹子隧道】
 笹子峠を自動車で通行するために造られた隧道で、両脇の2本並びの柱形装飾など、建築的な装飾を用いたデザインに特徴があります。国の登録有形文化財に登録されています。



【歴史の道百選 甲州街道笹子峠越】
 文化庁は、現存する古道で、歴史的・文化的な価値を持つものを「歴史の道百選」として選定しています。この甲州街道の難所笹子峠を越える古道も、「甲州街道笹子峠越」として令和元（2019）年に追加選定されました。



至 犬目峠
下 鳥沢宿
上 鳥沢宿
上 猿橋宿
上 駒橋宿
大 月宿
下 花咲宿
上 花咲宿
下 初狩宿
中 初狩宿
白 野宿
阿 弥陀海宿
黒 野田宿
至 笹子峠

甲州街道
旅日記

甲州街道を歩いてあなたが見つけたきれいな風景や発見、美味しかったお店のことなど、ご自由にお書きください。

年 月 日 天気 ()

年 月 日 天気 ()

至 犬目峠
下 鳥沢宿
上 鳥沢宿
上 猿橋宿
上 駒橋宿
大 月宿
下 花咲宿
上 花咲宿
下 初狩宿
中 初狩宿
白 野宿
阿 弥陀海宿
黒 野田宿
至 笹子峠

甲州街道
旅日記

甲州街道を歩いてあなたが見つけたきれいな風景や発見、美味しかったお店のことなど、ご自由にお書きください。

年 月 日 天気 ()

年 月 日 天気 ()



みんなの甲州街道 フォト日記

大月市内の甲州街道沿いで撮影したお気に入りの写真とコメントを添えて、大月市観光協会までお送りください。

観光協会のホームページでご紹介させていただきます。皆さんからのご投稿をお待ちしています。



投稿用

応募先	○大月市観光協会までお送りください mail@otsuki-kanko.info
応募資格	○大月市内の甲州街道を歩いた方（どなたでも）
送付内容	○写真（撮影場所）・コメント100字程度 撮影者のお名前（ニックネーム可）
注意事項	○投稿写真は、大月市内で撮影したものに限り ます。 ○投稿写真はご自身が撮影、もしくは撮影者の許可を得たものに限り ます。 ○投稿写真は、大月市観光協会が内容を確認後、大月市観光協会ホーム ページやSNSなどで公開させていただきます。（掲載できない場合もあ りますがご了承ください） ○被写体が人物の場合、ご投稿に際しては必ず本人（被写体）の同意を得 て、肖像権の侵害が生じないよう確認してください。観光協会では肖像権 等の権利関係について、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご 了承ください。 ○投稿写真の容量・種類は3MB以内のJPEGまたはGIF形式で願 います。

甲州街道あるきを楽しむために

- 交通ルールを守って十分注意して歩きましょう。
- ゆとりある計画を立て、無理をしない。
- 山道では熊などの野生動物が出没する危険があります。熊鈴等の用意も忘れずに！



笹子峠に残る文化財

至 笹子峠 黒野田宿 阿弥陀海宿 白野宿 中初狩宿 下初狩宿 上花咲宿 下花咲宿 大月宿 駒橋宿 猿橋宿 上鳥沢宿 下鳥沢宿 至 犬目峠

甲州街道 旅日記

甲州街道を歩いてあなたが見つけたきれいな風景や発見、美味しかったお店のことなど、ご自由にお書きください。

年 月 日 天気 ()

年 月 日 天気 ()



発行  大月市観光協会

〒 401-0013 山梨県大月市大月 1-1-33 ☎ 0554-22-2942

制作：大月市観光協会マップ制作プロジェクトチーム